

千葉県婦性会だより

ふくでん

題字：会長 橋本 照稔

更生保護法人 千葉県婦性会

再犯防止施策の推進と

社会的孤立の防止

千葉保護観察所長

辻 裕子



更生保護法人千葉県婦性会役職員の皆様におかれましては、再犯や

非行をして行き場を失った人たちを受け入れ、その自立と更生に多大なご尽力を賜っており、厚く感謝申し上げます。

本年度、新型コロナウイルス感染症防止を講じた上で業務継続に取り組み、これまで経験したことのない事態、しかも刻々と変化する情勢に柔軟な対応を迫られる日々が続くなか、皆様は、日夜在会者を感じから守るため適切な対処をし、安心して更生を図る場であり続ける努力をされておられ、敬意を表するばかりです。

犯罪や非行をした者等は、貧困や疾病、嗜癖、障害、厳しい生育環境、不十分な学歴など様々な生きづらさを抱え、地域社会で孤立し、必要とする支援につなごうとしていることが指摘されていますが、貴会では、済生会習志野病院、保護司、協力雇用主、更生保護女

性会、AAなど関係機関、団体の皆様から、在会者の健康の維持、終了の確保、日常生活の改善、SSTなどご協力を得て支援の輪を築き、設立から百二十年を超えて犯罪や非行をした人たちを支え続けています。

平成二十八年十二月に施行された「再犯の防止等の推進に関する法律（平成二十八年法律第一〇四号）」及び翌年十二月に同法に基づいて策定された国の再犯防止推進計画により、犯罪をした者等が社会の中で孤立することなく、再び社会の一員となるよう「誰ひとり取り残さない」社会の実現に向けて、国・地方公共団体・民間団体等による総合的な再犯防止施策が推進されているところです。

新型コロナウイルス感染症の影響下、地域社会の安全・安心に向けた取り組みは一層重要なものとなると思われます。将来婦性会から自立を目指す人々のためにも、再犯防止施策の推進と充実に向けて、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



『ふくでん』とは

ふくでんとは、婦性会が過去「千葉福田院」と称したことに因んで名づけたものであり、「福田」とは佛敎語で「善い行いの種子を蒔いて、福德の収獲を得る田畑」との意味合いとなります。

題字を書いて戴いた成田山新勝寺貫首であり、千葉県婦性会会長でもある橋本照稔氏に、この広報誌を「ふくでん」と名付けていただきました。



国道側から見た、現在の婦性会。バス停も目の前にあり便利です。